



若い自由なアイデアで、沖縄
県に適した省エネ対策を！

第3回目となる「省エネチャレンジカップ」の表彰式を、令和4年2月25日に沖縄県立博物館・美術館の講堂で開催しました。

「省エネチャレンジカップ」は沖縄県内の学生の省エネに対する意識向上を目的に、沖縄県の気候風土に適した自由な省エネ対策アイデアを募集しているものです。

今回は37の提案があり、厳正な審査の結果、最優秀賞1点、優秀賞1点、協賛企業賞12点の計14点の提案が受賞されました。

最優秀賞に選ばれた、玉城奏さんの「沖縄県の移動手段における電気自動車および電動キックボードの提案」は、電動キックボードを沖縄に導入することで、省エネを達成するとともに、沖縄の社会問題でもある交通渋滞の解消も達成するとう、実現可能性のある素晴らしい提案でした。

他の受賞提案も、省エネの関心の高さが表れたユニークな提案が多く、今後の沖縄の省エネ対策に期待ができそうです。



受賞者集合写真

各受賞者の提案は、沖縄総合事務局のホームページにて掲載しています。沖縄の未来を担う若者の省エネルギー提案を是非ご覧ください！



受賞提案
公表サイト

お問合せ先

経済産業部 エネルギー・燃料課

☎098-866-11759



エネルギーの活用で
まちづくり
～地域エネルギーセミナー～
シンポジウムを開催しました～

地域の多様なステークホルダーを巻き込み、地域の便益に繋げ、持続可能な地域づくりの取組へと昇華させるためには「まちづくり」の主役を担う基礎自治体や地元企業の主体的関与が重要なことから、今年1月に3回に渡り、地域エネルギーに関するセミナー及びシンポジウムを開催しました。

「基礎編」では、県内のエネルギー関連事業者による自社事業の説明及び脱炭素に向けての取組を講演いただいたあと、県内自治体から先進事例を報告いただきました。

また「応用編」では、地方自治体の脱炭素へ向けた現状と政策や、今後の国のエネルギー政策動向、県外（湖南市、肝付町）の事例についてご紹介いただきました。

シンポジウムでは、脱炭素のキーワードである「水素エネルギー」を中心に、水素や再生可能エネルギーを利用した地方創生や、水素を利用した燃料電池自動車(CV)について講演を行いました。なお、今回のセ



配信会場の様子

ミナー・シンポジウムともに新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からオンラインで開催しています。3回の開催で500人以上の方が視聴し、「事例の活用はすぐには難しいが、非常に参考になるので、このような講演は続けてほしい。」等の声がありました。

沖縄総合事務局エネルギー・燃料課では、エネルギーを活用したまちづくりについて、引き続き支援してまいります。

お問合せ先

経済産業部 エネルギー・燃料課

☎098-866-11759